

資料 2

令和7年12月15日

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況 (令和7年度) あんしんケアセンター

○花見川 P1～P5

○花園 P6～P8

○こてはし台 P9～P12

○さつきが丘 P13～P17

○にれの木台 P18～P21

○幕張 P22～P25

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和7年度）
あんしんケアセンター花見川

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	・高齢者サロン・サークル	<p>各地域の高齢者サロンに参加し介護予防普及啓発を行った</p> <p>【長作町地域】</p> <p>・地蔵作サロンに毎月参加し介護予防普及啓発の促進を行った。その内6月に詐欺被害防止の促進を図りたく、千葉市消費生活センターを招き「悪質商法の手口と対処法」の講座を行い、8月と9月には高齢者の運転免許更新の講座を開催した。</p> <p>【花見川団地】</p> <p>・金曜クラブに参加し、介護予防普及啓発と併せてラジオ体操教室やはなカフェや学びの会の参加促進を図った。（7月25日）</p> <p>【花島町地域】</p> <p>・花島お楽しみ会に参加し、介護予防普及啓発他、体操や余暇活動を支援した。 （4月26日、7月19日、10月25日）</p> <p>【柏井1丁目地域】</p> <p>・いこいの集いに参加して千葉市あんしんケアセンターの普及啓発を継続し、参加者に参加されていない方々への周知を依頼した（千葉市あんしんケアセンターのパンフレットを配布） （6月13日、11月7日）</p> <p>【自主的に体操教室を行う団体】</p> <p>・楽々体操教室へ毎月2回参加した。リハビリテーション専門職の派遣事業や市内で活動するリハビリテーション専門職へ協力を仰ぎ体力測定会等を通じて介護予防普及啓発や活動促進を図った。</p> <p>・ストレッチ体操に参加した。 （5月1日、11月6日）</p> <p>目標としている月1回以上の参加は達成。</p>	◎

		・ 介護予防体操教室	<p>①圏域にある４カ所のシニアリーダー体操教室へ出向き、計２６回参加して後方支援を継続した。参加者から以前は車やバスで買い物へ行けていた方が、足腰が弱くなり、近場での買い物さえ難しくなっているという話を聞いた。自治会長、生活支援コーディネーター、地域住民と協議し、イオンの移動スーパーをお試しで来ていただく事になった。</p> <p>②握力測定会は４月２４日と２５日に開催し３９名、１０月１４日から１６日に開催し３０名の方が参加された。</p> <p>③健康相談会（介護保険の相談含めた）は１０名の方の相談があり対応した。</p> <p>④体操教室が開催されている場所まで遠いため、参加できないと声が上がった地域において、生活支援コーディネーターと花見川区健康課が地域の担い手を探す取り組みを継続中。</p>	
(2)	交流の場づくり	<p>・ 認知症カフェ</p> <p>・ ふれあい喫茶</p>	<p>昨年より、もともとあんしんケアセンター花見川で取り組んでいた「認知症カフェ」から「認知症を知る勉強会」として地域住民や介護事業所と開催し、その結果花見川団地で認知症カフェ（はなカフェ）が立ち上がり、毎月１回開催となった。訪問看護事業所が主催となり、グループホーム、居宅介護支援事業所、施設紹介会社、社会福祉協議会花見川区事務所等が協力団体として活動。地域住民や美浜区で認知症カフェを運営されている団体が応援・協力の元運営継続出来ている。</p> <p>認知症の勉強会は今年度継続し来年度から、はなカフェが後を担っていく方向となる。</p> <p>４月１４日 人生会議 もしバナゲーム ７月 ４日 認知症の方を支える家族の気持ち １１月 ７日 認知症の方への接し方 ２月 予定 最終回</p> <p>ふれあい喫茶花見川と作新台に毎月参加（１２回）し、介護予防普及啓発を行う。その際に介護保険制度含めた相談を受け、出張相談窓口として相談に対応している。</p>	◎

《基本方針２》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・ 地域ケア会議	<p>6月：花見川団地地域ケア会議</p> <p>5年、10年後の団地をテーマに高齢者世帯が増えていく事について、その他の課題を参加者と話し合う。地域での高齢者の見守りについては、花見川団地地域ケア会議の際に検討を重ねた。商店街や自治会、民生委員等が気になる高齢者等の発見時にあんしんケアセンターへ連絡が入り、情報共有を図る事で体制が整いつつある。商店街や良品計画が実施している会議と地域ケア会議を連動して地域づくりを進めていく事を参加者と共有。ゴミ出し支援等では、ユニバーサル就労や障害福祉サービスの就労継続支援B型事業所との連携を視野に入れていく事を共有した。</p> <p>10月：柏井1丁目地区地域ケア会議</p> <p>初めての開催となり、あんしんケアセンターの事業内容等を説明し、参加者と地域の課題について話しあった。</p>	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	<p>・ 地区民児協定例会参加</p> <p>・ 天戸地域運営委員会</p> <p>・ 敬老会</p>	<p>・ 211・212地区は5月に参加。他213地区民児協定例会へ7回参加して、相談件数の傾向やあんしんからのイベント情報などを共有した。213地区民生委員より研修会の依頼を受け、5月に介護保険の理解を深める研修会を実施し、花島町にある特別養護老人ホームと介護老人保健施設で併設サービス含め事業概要説明と見学会・施設職員との意見交換会を実施した。身近な施設の取り組み状況や併設するサービス内容を知る機会を提供した。</p> <p>・ 天戸地域運営委員会へ4月・7月・9月と参加して自治会を含めた各団体との接触を図っている事と、委員会開催時に、あんしんケアセンターの事業説明や実際関わっている自治会との支援事例をもとにあんしんケアセンターとの関わり方をイメージしてもらった。</p> <p>・ 花見川住宅自治会と花見川団地自治会の敬老会に参加、花見川住宅自治会では、時間を頂いており、祝辞の他、介護予防普及啓発の講話を行った。(9月14日)</p>	◎

《基本方針３》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営推進会議 ・ 成年後見制度講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣のグループホーム、デイサービス運営推進会議へ参加して地域課題等を施設と共有。 <p>独居の高齢者は増えている傾向を見て、千葉市成年後見支援センターへ住民向けの講座を依頼して、8月23日に花見川団地商店街で開催した。</p>	◎
(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張相談会 	<p>花見川団地地域ケア会議で課題としてあがった、高齢者のみならず、高齢者以外の方の生きづらさ、生活困窮、外国人のマナー問題、ゴミ出し等多数の課題に対応するため、UR主催であんしんケアセンター花見川、生活自立仕事相談センター花見川、花見川区障害者基幹相談センターと「生活・福祉の合同相談会」を6月7日、11月11日に開催。相談は微増ではあるが、毎回4～5件はある。今後は相談会自体の運営方法を見直していく。</p>	◎
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 認知症キッズサポーター養成講座 	<p>4月16日に花見川公民館にて地域住民と公民館職員を対象に23名の方が参加された</p> <p>9月19日長作公民館にて14名の地域住民が参加された。</p> <p>キッズ認知症サポーター養成講座を1月に作新小学校で開催する。12月に花見川区高齢障害支援課と作新小学校職員と打ち合わせを予定している。</p>	◎

《基本方針４》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者被害防止啓蒙活動 ・ 地区の防犯パトロール 	<p>高齢者サロンへ参加した際に、千葉市消費者生活センターを招いて悪質商法の手口と対処方法についての講座を行った。(6月4日) 他、民児協定例会に参加した際にも注意喚起のチラシ配布、センター前掲示板にて注意喚起を行った。</p> <p>12月に作新台地区、花見川住宅自治会の防犯パトロールに参加予定。</p>	○

(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同避難訓練 ・ 災害対策 	<p>旧花見川第三小学校避難所運営委員会が企画している避難訓練に11月29日に参加し、地域での防災意識や要配慮者（独居高齢者等）の対策や検討事項を確認した。順次、町内会を確認していく。</p> <p>12月に実施する花見川住宅自治会の防災訓練に参加予定。</p> <p>（花見川団地自治会と花見川住宅自治会にアンケートを実施。同様に圏域の自治会へアンケートを出し状況把握を進めBCP計画と連動させていく）</p>	○
-----	-----------	----------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の取り組み状況 （上記項目の総括・中間報告）	地域づくりを進める中で概ね計画通り実行できているが、各地域での課題をさらに把握するため、可能な限りその地域へ足を運び、住民や支援者等の関係者と地域ケア会議や他の会議で意見交換を進めていく。
次年度に向けた展望	各地域の住民と支援者と一体になり「誰も取り残されない、見守りの効いた地域」を目標に地域づくりを進めたい
令和7年度の達成状況の中間報告 （自己評価）	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和7年度）
あんしんケアセンター花園

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロンけみがわ ・シニアリーダー体操検見川5丁目 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防や消費者被害などの講演、いきいき活動手帳の配布を行った。（5回参加） ・毎月2回参加し、運営支援を行うとともに、6月には歩行診断測定会を開催した。 	○
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・TOMO ・まちの談話室 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の情報提供及び来訪者の本人、家族の話を傾聴。 ・月1回認知症カフェを開催。地域からの参加者からの相談に対応。 	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議 ・民生委員との情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点地区（今年度花園2丁目）の民生委員さんの協力を得て、地域課題を把握。交流の場である「TOMO」と共同で、歌のイベントを開催。あんしんケアセンター、地域資源の周知を行った。 ・民生委員より連絡いただき高齢者宅へ同行訪問を行った。 	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民児協定会への参加 ・地域活動団体との関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月201.202地区の地区民児協定会に参加し、あんしんケアセンターから周知、協力をお願いを行った。不定期で参加し、情報発信と連携をしてきた。 ・社協検見川地区部会開催のふれあいサロンにおいて、毎回ミニ講座を開催し情報発信した。 ・社協花園地区部会ふれあい食事会（2回）にて、あんしんケアセンター業務、フレイル予防の講座を実施した。 ・以下の団体の活動時に参加し、あんしんケアセンター業務の周知、地域情報の発信を実施 町内自治会3回・自主運営サロン18回、 民児協5回・老人クラブ2回・地区部会1回、 シニアリーダー体操6回 	◎

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営会議 ・ 認知症サポーター、シニアリーダー ・ 居宅介護支援事業所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域内の小規模多機能、デイサービス事業所の運営会議に出席し、地域状況の共有と福祉サービスの質の向上について意見交換を行った。 ・ 認知症サポーターステップアップ講座修了者へ個別に連絡し、活動意思確認を行った。シニアリーダー養成講座の講師派遣を行った。 ・ 介護支援専門員に向け在宅でも可能な社会参加について周知した。 	○
(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌の作成 ・ 出張相談 ・ コラボイベント主催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あんしんケアセンターの周知と情報発信を目的に、3回「花園だより」を発行した。郵便局や公民館、商店、センター前に掲示し、シニアリーダー体操やイベント等で配布し、広く情報発信を行った。 ・ サロンやシニアリーダー体操、ふれあい食事会など地域の集まりに参加し、気軽に相談できる機会を作ってきた。 ・ ちいき食堂とあんしんケアセンターの周知を図る音楽イベントを開催15名が参加した。 	◎
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張講座 ・ 認知症サポーター養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 花園婦人会にて「正しい薬の飲み方」の講座を企画した。 ・ 202 地区ふれあい食事会にて「人生会議」「介護予防」の講演を行った。 ・ ふれあいサロンけみがわにて介護予防講座、「熱中症予防」の講座を行った。 ・ 10 月検見川小学校にて認知症サポーター講座を開催した。 	○

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者被害防止への啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌「花園だより」に詐欺に関する情報を掲載し、郵便局や公民館、商店、センター前に掲示し情報発信を行った。 ・ 花園一二三会、高砂会にて、詐欺被害の現状と注意喚起、予防ステッカーの配布を行った。 	○

(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ B C P（事業継続計画）の作成 ・ 非常時訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の安否確認者をリストアップし、緊急時に素早く対応できるよう情報整理した。また、停電時に備え必要な情報のファイリングを行った。 ・ 携帯発電機の試運転を月 1 回実施した。 	○
-----	-----------	---------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 7 年度の取り組み状況 （上記項目の総括・中間報告）	予定していた事業計画はほぼ実施できた。今年度は、生活支援コーディネーターと協力し、地域の集まりに多く参加することができた。また、花園地区で、T O M O との共同企画でイベントが開催でき、あんしんケアセンターの周知につながった。
次年度に向けた展望	引き続き、地域の活動に参加、あんしんケアセンターが身近な存在となれるよう周知活動を続けていく。 花園地区で行ったイベントが好評だったため、地域の居場所づくりとして今後どのように発展させていくか、検討していきたい。生活支援コーディネーターと協力し、地域資源の情報発信や認知症の理解を深められるような活動を検討していく。
令和 7 年度の達成状況の中間報告 （自己評価）	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和7年度）
あんしんケアセンターこてはし台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	① 元気会（鷹の台） ② 健康寿命延伸プロジェクト（鷹の台） ③ 喫茶室「つどい」（こてはし台） ④ ふらっとみ春野 ⑤ はつらつ元気教室 ⑥ いこいカフェ	①② 4月「自分の時間を生きる」「脳トレ・運動」の講座を行った。参加人数；55名 10月「腸活について」の講座（外部講師）を行った。参加人数：67名 ③参加人数も徐々に増えてきている。あんしんケアセンターの出張相談も兼ねており参加者からの相談も受け対応を行った。 ④5月から土曜日開催となった。開催時には参加し広報誌の配布説明、他の参加者さんと輪投げや脳トレ等行った。 ⑤こてはし台公民館 月2回 あんしんケアセンター主催 参加者10名～15名参加している。第4月曜日は外部講師（理学療法）による運動を行っている。 ⑦4月からこてはし台地区部会主催で開催。広報誌を配布し、あんしんケアセンターの周知等行った。	◎
(2)	交流の場づくり	① ふらっと横戸台（認知症カフェ） ② ○○カフェ（認知症カフェ） ③ ケアラズカフェ	不定期ではあるが参加（相談等）している。 4月「介護保険について」の講座を行った。 参加者；30名 あんしんケアセンター主催。 参加者がその日行いたいこと（歌、創作等）などセンター職員と一緒にやっている。 継続参加2名～3名＋問い合わせ見学者 ③ホッとひといきカフェ 11月13日開催 認知症の介護している方へのカフェ（予約制） 場所；こてはし台自治会館	◎

《基本方針２》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・地域ケア会議	①鷹の台・千代の台 地域ケア会議（６月９月開催） ②ソレイユ鷹の台集会所 地域ケア会議（６月開催） ③新鷹の台第一集会所 地域ケア会議（６月開催） 議題：地域の見守り強化、支援が必要な方への早期支援が行える体制構築、地域課題。 ④こてはし台・横戸台 地域ケア会議（１０月開催） 議題：地域課題等の意見交換等 今年度から横戸台自治会に依頼し合同で行う予定。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	①206、211 地区民 児協定例会参加 ②シニアリーダー 体操後方支援 ③シニアサロン 元気体操 ④花見川区いき いきプラザイベ ント ⑤オリーブフェ スティバル	①５月：令和６年度の実績報告、高齢者実態調査後の連絡等、日頃から連携を図りながら支援を行っている。また、上記の地域ケア会議に参加している。 ②こてはし台公民館で開催しており毎回、３０名～４５名参加されている。 月１回参加し後方支援を行った。 ③シニアリーダー体操から自主運営（２か所）となった体操教室に月１回参加、後方支援を行った。 ④あんしんケアセンターさつきが丘と共催 ・健康フェスティバル（６月） 生活機能チェック、生活相談を行った。 参加者：６３名 ・秋祭り（９月） 認知症クイズラリーを実施した。参加者：７２名 ⑤こてはし台中央公園で開催。 あんしんケアセンターでは握力測定を実施した。 参加者：３８名 クッキーや手作り小物、焼き鳥 おにぎり ビール うどん クレープ等の出店。	◎

《基本方針３》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	第１層 第２層 生活支援コーディネーターと連携	第２層生活支援コーディネーターからの地域資源情報について、現在、効果的な整理のあり方を検討している。	△
(6)	地域福祉情報の発信	① 広報誌の作成 ② 地域のイベント等の周知	① ② あんしんケアセンター前掲示板の掲示やサロン（出張相談含む）等で配布し発信を行っている。	◎
(7)	学習の場や体験の場の創出	① 認知症サポーター養成講座 ② 高齢者見守り・声掛け訓練	① ９月：横戸小学校（５年生 ２３名） １０月：柏井高校（１５名） 認知症サポーター養成講座を行った。 令和７年１月 こてはし台小学校開催予定 ② 令和５年度から認知症啓発活動「歩いてビンゴ」柏井地区子供会と共催（１１月２２日） 参加者が認知症役に声掛けしていただく。 ■その他 ・いきいきプラザ夏祭りで認知症クイズを行い若年層に対しての普及啓発活動を行った（あんしんケアセンターさつきが丘共催） ・花見川区区民まつりにて「どこしる伝言板」の普及啓発活動を行った。（花見川区あんしんケアセンター共催）	◎

≪基本方針4≫ 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	①消費者被害防止啓蒙活動 ②地域パトロール活動	①消費者被害等に関する講座へ参加し最新情報を習得し、地域活動として民生委員等に対し、情報提供と共に注意喚起を行った。 ②年末を予定としている。	○
(9)	身近な災害への備え	BCP（事業継続計画）	感染症について所内研修を行った。後期には自然災害時に対する研修を行う予定	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の取り組み状況 （上記項目の総括・中間報告）	・前年度から継続している活動（地域ケア会議、認知症カフェ、その他啓発活動等）を計画的に行うことができている。今年度も地域ケア会議開催場所を増やし地域の関係機関との連携を深めることができた。
次年度に向けた展望	・令和8年度までに花見川中学校地区（第22地区）全域との地域ケア会議を開催し自治会、民生委員児童委員などの関係機関と連携を図り、支援が必要な高齢者へ早期に支援が行える体制を強化する。 ・圏域内の支援者や家族介護者などに向けた支援体制を充実させるために、ケアラズカフェ（前期 後期）開催を行う。
令和7年度の達成状況の中間報告 （自己評価）	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和7年度）
あんしんケアセンターさつきが丘

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・センター主催の健康づくり教室の開催 ・喫茶、サロンの運営協力 	<p>花見川いきいきプラザの協力のもと、6/11（水）、11/12（水）の計2回、さつきが丘公民館にて『エンジョイさつきが丘』を開催。モルックとボッチャを組み合わせたモルボ体験を行った。参加者は延べ28名だった。また、後期に3回目の開催を予定している。</p> <p>・計4件の喫茶、サロンにて、参加者の傾聴対応の他、地域内のイベント周知やボランティア事業への案内と情報共有を行った。</p>	○
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの運営協力 ・グループホームと地域住民の橋渡し 	<p>・ケアラズカフェ（ここカフェ）において、傾聴対応や地域福祉の情報提供の他、新規参加者に対し、当事業所の周知活動を計6回、65名に対し行った。</p> <p>・ガーデンコート千葉さつきが丘の花壇ボランティアにおいて、地域高齢者と入居者が気軽に集える場の提供づくりを行った。通算5回の開催で延べ11名の地域高齢者が参加した。</p>	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・地域ケア会議	<p>8/5（火）千草台ハイツ自治会にて地域ケア会議を実施。参加者の自治会員3名に対しニーズ調査を行う。ゴミ出し課題とあんしんケアセンターの周知に関する希望があった為、8/29（金）に千草台ハイツの全110世帯に対し、あんしんケアセンターのチラシ配布を行った。</p> <p>後期にフィードバックに関する2回目の会議を開催する予定している。</p>	△

(4)	地域の機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区民児協定期例会参加 ・ 地域関係者との関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/10（土）に来賓として、社協さつきが丘、宮野木台地区部会の総会に出席した。 ・ 5/10（土）に 205 地区、5/12（月）に 214 地区の民児協に参加し、前年度の事業所における総合相談内容の内訳を掲載した資料の配布を行った。 ・ ケアラズカフェ（ここカフェ）については、カフェ終了後の反省会に参加し、関係者と地域福祉等についての意見交換を行った。また、シニアリーダー体操教室（6ヶ所）については、教室終了後にシニアリーダーと活動に関する悩みや課題などについての意見交換を行った。 	○
-----	---------------	----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

《基本方針 3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営推進会議 ・ 高齢者見守り訓練 ・ シニアリーダー養成講座の周知 ・ 地域住民の強みを活かした役割支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席依頼のあった圏域内の地域密着型サービス運営推進会議に可能な限り出席し、福祉サービスの向上に向けた意見交換を行った。出席依頼のあった事業所数は計 13ヶ所で、会議出席回数は 20 回であった。 ・ 9/20（土）にあんしんケアセンターこてはし台と協働し、花見川いきいきプラザ秋祭りのイベントのひとつとして、認知症クイズラリーを開催した。参加者は延べ 106 名であった。 ・ 第 2 層生活支援コーディネーターと連携し、シニアリーダー養成講座の修了者（2 名）がシニアリーダーとして地域で活動できるようヒアリングを行い、適宜助言した。 ・ 第 2 層生活支援コーディネーターと連携し、11/5（水）に地域高齢者の趣味を活かした自然観察会を開催、参加者は計 9 名であった。 	○

(6)	地域福祉情報の発信	<p>出張相談会</p> <p>・ 通いの場を訪問</p>	<p>・ 6/27（金）にさつきが丘いきいきセンター、6/30（月）に花見川いきいきプラザにて開催された健康フェスティバルに参加し、基本チェックリストの実施といきいき活動手帳を配布した他、参加者の生活相談を行った。なお、2ヶ所の健康フェスティバル参加者の内訳は、さつきが丘いきいきセンターが33名、花見川いきいきプラザ（あんしんケアセンターこてはし台と協働）が63名であった。</p> <p>・ 地域の通いの場、交流の場の計17団体を訪問し、参加されている地域高齢者に対して介護予防に関するチラシ（当事業所作成のあんしんさつきが丘便り含む）の配布と説明を行った。また、活動状況の把握に努め、通いの場、交流の場が必要とされる地域高齢者に対し、適宜情報共有を行った。</p>	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	<p>・ 出張講座</p> <p>・ 認知症サポーター養成講座</p> <p>・ 終活講座</p>	<p>・ 4/28（月）に1-35地区のふれあいサロンにて、消費者被害と脳トレについての講話を開催、14名が参加した。</p> <p>・ 5/4（日）にファーム栗の木 家族会にてあんしんケアセンターと消費者被害、権利擁護についての講話を開催、12名が参加した。</p> <p>・ 8/25（月）に1-35地区のふれあいサロンにて「薬について知ろう」・「自分で体調管理をしてみませんか」の講話を開催、14名が参加した。</p> <p>・ 10/20（月）に千種団地町内会にて血圧・握力測定とフレイル予防の講座を開催。花見川区健康課に講師を依頼し、12名が参加した。</p> <p>・ 6/1（日）の社協さつきが丘・宮野木台地区部会「福祉まつり」にて養成講座を開催し13名が受講した。</p> <p>・ 9/29（月）にさつきが丘東小学校にて5学年を対象にキッズサポーター養成講座を開催し、38名が受講した。</p> <p>・ 開催出来ず。地域の活用や交流の場に対し、講座を開催できるよう周知を行って行く。</p>	△

《基本方針４》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者被害に関するチラシの配布 ・ 消費者被害に関する出張講座 ・ 消費者被害勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通いの場、交流の場 9 団体へ訪問し、参加されている地域高齢者に対し、チラシの配布と説明を行った。 ・ 開催できず。地域の活用や交流の場に対し、講座を開催できるよう周知を行って行く。 ・ 消費者被害に対する職員の意識付けを高めるため、事業所内にて勉強会を 2 月に実施する。 	△
(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> 非常時訓練 ・ 安否確認 ・ BCP の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回の事業所における全体会議時に非常用自家発電機と防災ラジオの試運転を行った。また、災害対策としてヘルメットを準備している。 ・ 事業所作成の安否確認リストに掲載されている高齢者に対し、自宅訪問や電話にて安否確認を行った。また、安否確認リストは 3 ヶ月に 1 回更新している。その他、災害等が発生した際には、安否確認リストに掲載されている高齢者の支援を最優先する。 ・ 最低年 1 回は計画を更新している (R7 年 10 月 1 日付で更新済み)。また、法人内の居宅介護支援事業所とあんしんケアセンター合同にて、災害対策委員会と感染症対策委員会を立ち上げ、今後の研修や訓練について現在協議中である。 	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和 7 年度の取り組み状況 （上記項目の総括・中間報告）	<ul style="list-style-type: none">・昨年度に比べ、出張講座の回数が大幅に減少してしまった。終活講座、消費者被害の出張講座を開催する事が出来なかった。・あんしんケアセンター主催の『エンジョイさつきが丘』を予定通りに実施する事ができた。また、多くの通いの場や活動に参加する事が出来た。・民生委員や自治会など例年通りに総会に参加、協力関係を構築する事が出来た。・重点活動地域において地域ケア会議を開催する事が出来た。千種台ハイツからの相談は例年少なく、あんしんケアセンターの周知及び各住民の個別支援につなげる為、センターのチラシを全戸配布したものの、支援につながった件数は現状 1 件のみ。				
次年度に向けた展望	<ul style="list-style-type: none">・昨年度に比べ出張講座の開催が大幅に減少した。講座開催の周知を含め、地域住民に対し消費者被害や終活講座を中心とした講座を外部で開催出来るよう努める。 <p>今年度後期に予定している取り組みを確実に行う他、次年度は誰もが住みやすい地域づくりを目標として、地域の諸団体を中心とした各種関係機関と連携して顔の見える関係づくりを行い、地域課題の解決に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">・後期の地域ケア会議では、前期に行った支援のフィードバックを行い、課題解決に向けての意見交換する予定である。・第 2 層生活支援コーディネーターと連携して、地域活動の担い手の育成・発掘をしていく。				
令和 7 年度の達成状況の中間報告 （自己評価）	<table><tr><td>◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）</td></tr><tr><td>○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）</td></tr><tr><td>△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）</td></tr><tr><td>×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）</td></tr></table>	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）
◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）					
○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）					
△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）					
×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）					

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和7年度）
あんしんケアセンターにれの木台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<p>①ラジオ体操の継続開催</p> <p>②健康教室の開催</p> <p>③シニアリーダー体操の周知</p>	<p>①平日の9:00から事務所前で開催している。フレイル予防の観点で実施した。開始時に健康面の自己管理の大切さを伝え、いきいき手帳の配布も行った。4月～9月で延べ1974人の参加があった。</p> <p>②にれの木台UR集会所と西小中台第一集会所で健康教室を全7回開催した。2会場の地域住民の延べ参加者は66名になった。</p> <p>内容は、「脳年齢、血管年齢の測定」、「健康テレビゲームの体験」、「タオルを用いた体操を織り交ぜたコンサート」、「いきいき活動手帳の説明および配布」等を行った。</p> <p>③圏域内で開催されているシニアリーダー体操について、生活支援コーディネーター、保健師が参加。要支援や前段階の方を中心に紹介した。4～9月間に15名紹介し、4名の方が利用につながった。</p>	◎
(2)	交流の場づくり	<p>①手仕事サークル</p> <p>②認知症カフェ</p> <p>③地区社協主催のカフェ</p>	<p>①閉じこもりの防止の観点からも、これまであんしんケアセンターが主体的に開催してきた。毎月第2第4水曜日に開催。都度約10名の参加があった。5月に打ち合わせを行い、11月以降自力運営に移行し、地域の集いの場となった。</p> <p>②月1回開催される認知症カフェ「ほっとすぺーす畑」に3回出席し運営支援を行った。あんしんケアセンターに相談がつながった方やその家族に声掛けしたが利用につながらなかった。今後、あんしんケアセンターの相談会を同時に開催し、認知症カフェの利用につながる形ができれば良いと考えている。</p> <p>③7/5（土）朝日ヶ丘地区部会が開催した「第1回おしゃべり広場」にあんしんケアセンターとして参加した。地域住民、福祉部会の委員、民生委員や自治会長など約40名が出席された。参加者にあんしんケアセンターの説明や周知を行った。</p>	◎

《基本方針 2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	○地域ケア会議、多職種連携会議の開催	○上半期は個別ケースの対応において、2 ケース、地域ケア会議を開催した。地域課題を中心とした地域ケア会議の開催には至っていない。独居の認知症の方への対応や精神症状のある方への対応など、課題も少しずつ明らかになってきているので地域ケア会議の開催を検討したい。 ○多職種連携会議をあんしんケアセンター花園、在宅医療・介護連携支援センターと協働し開催した。テーマは多職種で考える人生会議（ACP）のタイミングと伝え方とし、千葉市の取り組みを説明いただいた後、参加者でグループワークを行った。外部参加者は 45 名であった。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	○地区民生委員児童委員協議会の定例会に参加	○203（朝日ヶ丘）地区は月 1 回の定例会に出席した。会議終了後に具体的なケースの進捗を共有したり、新規の相談を受けつけた。また、204（畑町）地区は要請時に出席した。 ○その他、2 地区（畑町東部地区、西小中台団地）の敬老会への出席依頼があり、挨拶や体操などを行った。	○

《基本方針 3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	○運営推進会議への参加	○圏域内で地域密着型サービスを運営している 7 事業所の運営推進会議に出席した。合計 14 回出席している。	◎
(6)	地域福祉情報の発信	○出張相談会やイベント開催時の相談ブースの設置	○健康教室開催時に相談会を実施できず、下半期に開設する。主に西小中台地区と畑地区で開催していきたい。 ○その他、7/25 のにれの木台地区の夏祭り、9/30 に UR と共催した福祉イベントにおいてブースを作り周知活動と相談を受け付けた。	△

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	<p>①介護予防や介護保険制度、あんしんケアセンターの周知</p> <p>②認知症サポーター養成講座 認知症キッズサポーター養成講座</p> <p>③小学生に対する講演活動</p>	<p>①6/3 朝日ヶ丘地区部会主催のふれあい講座にて「あんしんケアセンターはどんなところ？」というテーマで講演を行った。他、6/26 N G O 新日本婦人の会からの依頼で、「あんしんケアセンターと介護保険のお話」として講演を実施した。</p> <p>②認知症キッズサポーター養成講座の依頼が西小中台小学校や畑小学校からあり、講師として参加した。また、認知症サポーター養成講座を朝日ヶ丘公民館の依頼で、2/15に開催することになった。他、キャラバン・メイト養成研修を一人が修了。</p> <p>③西小中台小学校 6 年生を対象に総合的な学習の時間の一環として「今の自分、未来の自分」をテーマとした学習があり、ゲストティーチャーの依頼があり出席。福祉や介護業界の周知と仕事のやりがいについて伝えた。</p>	◎
-----	----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

《基本方針 4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	○消費者被害や、詐欺被害防止のための啓蒙活動	○健康教室で消費者被害や詐欺被害について講演いただくよう調整した。日程の関係で千葉市消費生活センターに1月13、20日に「悪質商法の手口と対処法」と題して講演いただくことになった。	○
(9)	身近な災害への備え	○避難訓練	○センター内で定めたBCPに沿って、災害時の連絡訓練を実施した。だが、自治会とは挨拶をするにとどまり、訓練の協働はできなかった。	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

<p>令和 7 年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)</p>	<p>令和 7 年度上半期は、前センターの活動を引継ぎ、あんしんケアセンター事業を理解しながらの活動となった。今年度は受託法人が変わったことも含めて事業周知を行った。そして、地域の民生委員会議に定期的に出席したり、社協の地区部会の活動に参加することで、顔の見える関係性の構築を進められている。結果、地域からもあんしんケアセンターの事業説明等の講演やイベントへの協力依頼が入っている。</p> <p>前センターが行ってきたラジオ体操や健康教室はスムーズに継続実施ができた。生活支援コーディネーターとも協働しながら、相談内容に応じてインフォーマルな地域資源とのマッチングや情報提供を行うことができている。</p> <p>日々受け付ける相談や支援を行う中で少しずつ地域性を理解していている実情である。下半期には地域課題を抽出、精査し、対応していきたい。ただし、同じ圏域内でも事務所までの距離などから相談につながりにくい地域もある。まずは、出張相談の開催に向けて調整をおこなっていく。</p>
<p>次年度に向けた展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が、住み慣れた地域で、安心して生活を送ることが出来るように、医療・介護・福祉と連携を図る。複合的な課題を抱えているケースに対しては、高齢障害支援課や関係機関と連携し対応していく。 ・また、あんしんケアセンターで受け止めた相談を分析し見えてきた課題について、自治会や民生委員等と共有し、地域課題の解決に向けて取り組む。 ・引き続きあんしんケアセンターの周知活動を継続する。介護予防の普及啓発や認知症の理解を促進できるように講座、イベントの開催等に努める。その際も地区社協、自治会、民生委員等と連携しながら開催する。 ・包括 3 職種それぞれが、専門分野を活かした対応や支援ができるよう、スキルアップに努める。
<p>令和 7 年度の達成状況の中間報告 (自己評価)</p>	<p>◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率 100%以上）</p> <p>○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率 50%以上 100%未満）</p> <p>△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率 10%以上 50%未満）</p> <p>×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が 10%未満）</p>

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・中間報告（令和7年度）
あんしんケアセンター幕張

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家	毎月1回定例で開催。参加者毎回10名前後。 10/28 初めて幕張地区単独開催でたんぽぽ広場祭り・区民祭りを実施。幼児から高齢者と多世代、保育所の園児・地域の親子連れ・認知症当事者・その家族・地域の方々・老人会会長・民生委員・花見川区社協・花見川区内生活支援コーディネーターなどが集い交流を深め、閉じこもり、孤立予防、認知症共生社会につながる活動を行った。延べ参加人数：約130人 毎月2回定例で開催。参加者毎回15名前後。 歩いて通える場所で集い、体操・歌唱・脳トレ・朗読会・各種出し物・花壇の整備など様々な活動を通じて閉じこもり防止や地域交流、仲間づくり、居場所づくりを行った。	◎
(2)	交流の場づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家 認知症カフェの立ち上げ・運営協力	上記参照 認知症カフェではなく社会福祉法人がコミュニティカフェ&ケアラズカフェを10月から月1回で開催する支援を生活支援コーディネーターが中心となりおこなった。現在も毎月の活動を支援。参加者は毎回約20人。	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	個別地域ケア会議を1回実施。家族、警察、不動産業者、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所、高齢障害支援課、あんしんケアセンター幕張と本人の意思決定支援のための協議を行った。 後半は更に地域ケア会議を行っていく予定。	○

(4)	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議	あんしんケアセンター花見川と合同で「意思決定支援について」をテーマに医療職と介護職の連携について会議を開催。 後半に向けて花見川区全域の同会議を開催予定。	◎
		地区部会	6月にフレイルについて講座開催	
		シニアリーダー体操	シニアリーダー体操教室（7ヶ所）を毎月、訪問し、あんしんの周知や介護予防の働き掛けをするとともにリーダーと活動に関する悩みや課題を共有する。	
		住民主体団体	定例参加の幕張ファミリーハイツささえあい会参加、今年度初めて組織された幕張シャルマンの有志団体へ3回参加を行った。	

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	地域密着サービス運営推進会議	運営推進会議に13回参加。運営の協議や他機関の取組などを伝える。	◎
		生活支援コーディネーターの活用	生活支援コーディネーターの活動で自立促進ケア会議を活用したんぽぽ広場祭り・区民祭りに趣味を生かしたつながりを創った。各種集いで人材を発掘し、各種地域の通いの場に案内した。また、通いの場でのボランティアの育成支援を行った。	
(6)	地域福祉情報の発信	広報紙発行	広報誌を隔月で掲示板や自治会配布を発行。当センターの周知と、主として高齢者の日常生活に関する情報を掲載。広報誌を見た人が収穫祭に多く参加された。読者から掲載内容に関する問い合わせや感想を受けた。	○
		まちかど相談	あんしんケアセンター幕張の前で毎月1回、定例にて相談会を実施。参加者毎月5名程度。	
		出張相談会	JR幕張駅コンコース、老人会、地区民生児童委員会、地区社協、居宅介護支援事業所、医療従事者の依頼に基づき相談会を実施。支援の窓口提示や支援が必要な方への早期対応につなげた。	

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	出張講座 認知症サポーター 養成講座	自治会、老人会、地区社協、居宅介護支援事業所、 医療従事者、介護従事者の依頼に基づき相談会や勉強 会を8回実施。今後も2回開催予定。 居宅介護支援事業所ケアマネジャーに向けた認知 症学習会1回開催。今後1回開催予定。 認知症サポーター養成講座 1回実施予定 キッズ認知症サポーター養成講座 1回実施 1回 予定	◎
-----	----------------------	--------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と取り組み状況	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起	管内警察署の話を地域住民へ広報誌や通いの場で配布や周知を行った。また消費者センター、千葉市作成のチラシやポスターをセンターに掲示。	○
(9)	身近な災害への備え	非常時訓練 BCPの作成・実践	携帯発電機の操作確認と試運転を月1回で実施。 予防プラン作成担当利用者の安否確認リスト作成を半年ごとに見直し。 千葉市のハザードマップの確認と周知。 BCPを所内で確認し机上訓練の実施。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和7年度の取り組み状況 (上記項目の総括・中間報告)	基本方針1に関しておおそ計画通りに実施できておいる。活動や作業を通じた交流と、相互に関心を抱きながら関係構築している現状があり、居場所づくりとして参加者にも好評を得た。 年代や属性を限定しない催しに参加することにより、多世代に当センターの存在を知ってもらう機会となった。
次年度に向けた展望	居場所づくりは昨年からの継続開催で広がりを見せている。継続的な運営と活動の維持のためにも、運営委員の育成を意識した支援と取り組みの呼びかけを行う。
令和7年度の達成状況の中間報告 (自己評価)	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）